



自由民主党

内閣総理大臣補佐官 いたう たつや

伊藤達也

元金融担当大臣／衆議院議員／松下政経塾出身

VOICENETmini
2008年6月11日号

発行所
フォーラムフロンティア
(伊藤達也連合後援会)
〒182-0024
調布市布田1-3-1
ダイヤビル2F
TEL 042-499-0501
FAX 042-481-5992

ムダ・ゼロで行政を変える

人口減少と高齢化により、年金、医療、介護など社会保障負担は増加の一途です。不十分との指摘も多い現在の社会保障の水準ですが、これを維持するだけでも、2011年には公費つまり税金の投入額は約7兆円増えることとなります。

一方、国と地方を合わせた長期債務残高は2007年度末で772兆円にのぼり、日本の経済財政運営への信認を得ていかなければ、国民経済に深刻な影響を与えることにもなりかねません。

また今のままの低成長では、早晚、中国やインドに逆転され「たそがれの国」になってしまいます。

2年前、私はこうした危機感から、経済成長と非効率な予算の是正により、国民負担を最小限に抑制しつつ財政健全化を実現していく道筋を描きました。これが通称「上げ潮戦略」であり、「経済財政運営の基本方針2006(骨太2006)」につながりました。

日本の経済を一段と高い成長軌道に乗せていくために、実質経済成長率を上げる具体的な政策をパッケージにしていこう。同時に、これまで以上に政策の棚卸しを徹底して、一般会計、特別会計、独法や公益法人を含めて、歳出の無駄を国民目線で削減していく必要があります。

福田総理も政府におけるムダの徹底的な排除に向けて集中点検をするように指示をしています。国民の方々から「無駄」と思われる政策経費について公募をするなど、こうした取り組みを政府与党一丸となって進めていかななくてはならないと考えています。



内閣総理大臣補佐官 伊藤 達也
衆議院議員

伊藤達也プロフィール

1961年	7月6日生まれ O型 46歳	2002年	内閣府副大臣(金融担当)
1980年	調布市立第一小学校、調布中学校を経て 慶応義塾高等学校卒業	2003年	内閣府副大臣(金融・経済財政政策担当)
1984年	慶応義塾大学法学部法律学科卒業	2004年	金融担当大臣
"	(財)松下政経塾入塾(第5期生)	その後	自由民主党政調会長補佐、幹事長補佐 対外経済協力特別委員長、地域再生調査会長 u-Japan特命委員会幹事長
1987年	カリフォルニア州立大学大学院行政学部客員研究員	現在	衆議院決算行政監視委員会筆頭理事、 財務金融委員長、予算委員会理事 等
1993年	衆議院議員(以来、連続5回当選)		
2000年	通商産業政務次官		
2001年～	衆議院環境委員会理事、経済産業委員会筆頭理事 自由民主党経済産業部会長 等		

政策提言する「達也の直球勝負」
ほとんど毎日更新中「伊藤達也ブログ」など内容充実!

伊藤達也

検索

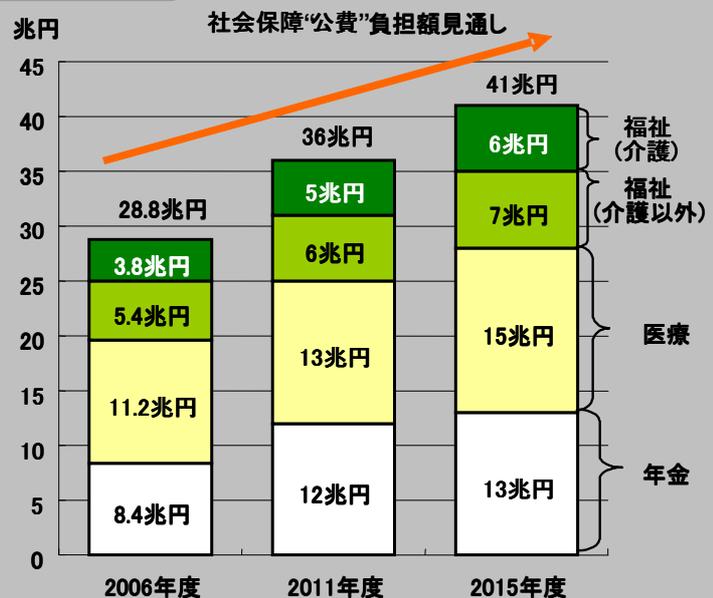
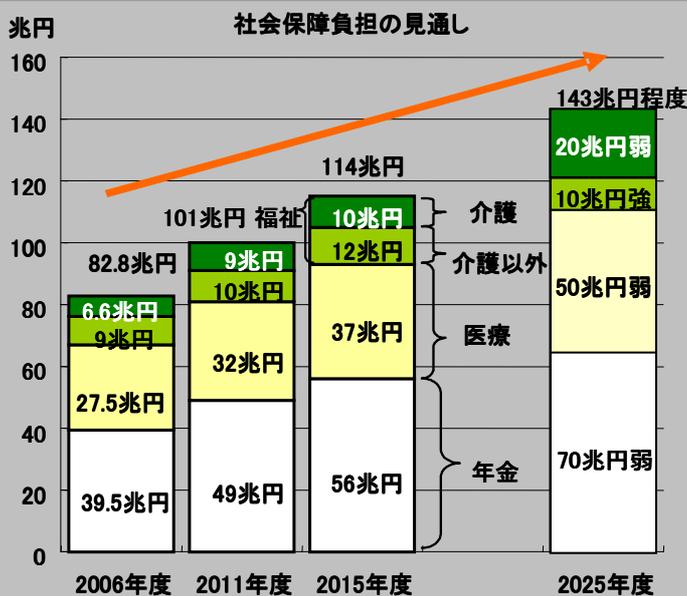
<http://www.tatsuyaito.com>

伊藤達也事務所: 〒182-0024 調布市布田1-3-1 ダイヤビル2F TEL 042-499-0501 FAX 042-481-5992

「ムダ・ゼロ」へ政府の取組

- ◆道路関係の支出、公益法人の徹底的見直し
- ◆行政と密接な関係にある公益法人の集中点検
- ◆契約方式の競争政策の導入、随意契約の徹底的制限
- ◆「政策のたな卸し」などによる政府の効率性・透明性の排除
- ◆国や独立行政法人等の保有資産の有効活用・売却
- ◆業務現場の仕事のやり方の見直し

増大する社会保障負担



出所:厚生労働省「社会保障の給付と負担の見通し」(平成18年5月推計)
注:データは「並の経済成長」ベース

国と地方の長期債務残高

